

本興寺だより

令和五年

一月

第二四一号

「妙とは蘇生（そせい）の義なり。蘇生と申すはよみがえる義なり」

（宗祖 法華題目鈔）

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
一年の歳月には誰でもいろいろな思い出があります。過ぎ去った過去のこと、歩んで来た足跡がしつかりと残ります。振り返れば、満足な気持ちもあれば、悔いの残ることもあります。

体験した出来事を冷静に見つめて反省し、その中に良いことも悪い事も、**全てのこと**に教訓（宝）が含まれていることに気付いて次に活かすことが大事だと云われます。

人の一生は自分の力量だけでは推し量れない多くの力が作用します。人間関係、環境、そしてご神仏やご先祖のご加護や支えなど。

正月の風習には、**年神様**からご加護をもらって**災難**や**災害**に遭わないように**一年を乗り切りたい**という祈りがあります。

お年玉とは本来「**年魂**」「**年霊**」と書き、**鏡餅**や**餅玉**に宿った**年神様**の御魂でした。その力を授かって新たな生命力を得るのでした。今では子供の単なるお小遣いとしかとらえられていませんが。

聞きたくない、見たくない自分への評価の中に、私達を向上させてくれる鍵が多くあると云われます。

人の寿命の生と死は表裏一体です。出会いがあれば別れが必ずあります。特に死は突然やってきます。前触れもなく。

身近な人の死に会えば、悲しみが募ります。共に生きた生前がとても懐かしく感じられます。

亡き人が、生きたくても生きられなかった今を自分が生きていることへの命の重みと、共に生きてきた日々への恩を顧みて、亡き人へ感謝と供養の心を、車の両輪の如くに忘れない生き方が、ご神仏とご先祖からのおかげ（お蔭）を頂けることになると示されています。

日蓮聖人は、「正月は『妙』の一字の祭り、天照大神（あまてらすおおみかみ）を歳（とし）の神とする」と云われています。また冒頭のように「妙とは蘇生（よみがえる）のことである」とも言われています。

どんな苦悩に遭遇しても、その運命を好転させ得る力は必ず心の中にあるということ。す。

「妙」とはそれを引き出す不可思議な力なのです。傷んだ心を蘇生させ、運命を好転させる力が心の中に必ず宿っているのです。

仏閣で見かける**五重塔**は天と地を結び、亡き人とも通じる意味もあります。五重塔は**人体の五体（頭・顔・胸・腹・足）**を表わし、「妙法蓮華経」の**五字**をも表しています。

「南無妙法蓮華経」と唱える時、己の身体の中にあ

このお餅を食べるための料理が「雑煮」です。餅を食べることで神仏のパワーを身体に取り込むのです。雑煮には餅の他に、里芋・大根・人参などが入っています。家庭円満・子孫繁栄・魔除けなどの意味もありませんが、雑煮を残さず食べることは大切な意味もあります。

具の好き嫌いで残さないように、人生でも出会う人や環境、立場によって選別せず、体験は全て、例えば辛いことでも逃避せず、正面から受け入れ飲み込むことが、何時かは海の幸、山の幸のように、自分を生かすことになるということを覚えておいてください。

「一年の計は元旦にあり」と言われます。何事も最初が肝心だからですが、物事の計画よりも心の計（今までの心を振り返り見つめ直す）が大切です。



心を正して、より飛躍していく月が正月です。人の悩みの多くは自分の心持ち、行いが引き寄せていると云われます。「そんなはずはない。私は悪くない」と思いがちですが、仏様はそうではないと云われます。

人間は、見たいものしか見えていない、聞きたいものしか聞こうとしないというのです。冷静に物事を見聞きしているつもりでも、興味あることや心地良いことは目や耳にすぐ入りますが、嫌なことや関心のないことは、見えても見えない、聞かなくても聞かないのです。通りすがりの風景を見るように、頻繁にそこを通過していても、いざとなると思い出せないように。

る、あらゆる生命力がよみがえり、その力が増すのだと説かれています。

「妙法蓮華経」には、天地に作用する五つの元素（木・火・土・金・水）を含め、万象の全ての力がこの五字に備わっているのです。自分を我「吾」五つの口と称する所以です。

人は困難に直面した時、絶望的になったり命を軽視したりしがちですが、誕生した命の宿縁の深さに気付く、命を大切に悠々と生き切ることが大事だと云われています。

本年は癸卯（みずのと・う）四緑木星の兔（うさぎ）年です。



昔の唱歌に「兎追いしかの山、小鮒（こぶな）釣りしかの川」とあります。故郷を離れた人の望郷の念を読んだ歌詞ですが、私達の魂の故郷はあの世なのです。

運命の運という字は「軍」が入っています。軍は戦いです。あの世から送り出された尊い命なればこそ、何時でも自らに厳しく真剣勝負で生きよと教えています。

サッカーのワールドカップのスペイン戦のように、人生は一瞬で、一ミリで好転したり、また逆に悲哀を味わったりするのです。

本年は大きな風水害などが、例年にも増して起こり易い年ですので細心の注意が必要です。

本年もよろしくお願い致します。

合掌

本興寺住職 中谷 聰 秀